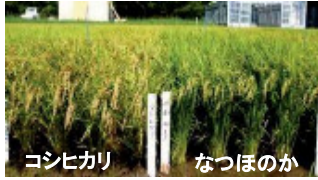


鹿児島県の農業を支える技術開発

作物・野菜・花き

高温登熟性に優れる早期水稲「なつほのか」

園芸作物部



登熟温度30℃処理でも、白濁が少ない「なつほのか」

特性

- 高温登熟性に優れ、高品質
- 良食味(低タンパク含有率)
- コシヒカリに比べて、粒が大きく、2割多収、収穫は10日遅い

栽培のポイント

- ◇ いもち病発生に注意
- ◇ 早期落水しない

適応地域

- 早期栽培地帯

本県での栽培に適したキク新品種

花き部



秋スプレーギク「きゅらシューサー」

- 奄美地域向けの新品種
- 白系シングルで実需から高評価



夏秋スプレーギク「サザンライク」

- 黄色系スプレーギクの新品種
- 6～9月の安定生産可能(色・開花)
- 春～夏期の温度変化に対応

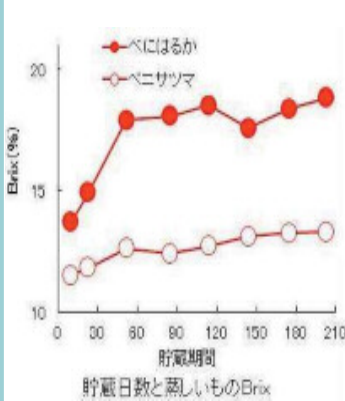


秋輪ギク「立神」(りゅうじん)

- 白色系秋輪ギク新品種
- 神馬2号並の低温管理による省エネ可能
- 新神並の省力性・ポリウム確保

「べにはるか」の貯蔵日数と蒸しものの品質

大隅支場



技術ポイント

- ◇ 蒸しものの品質には貯蔵日数が影響
- ◇ 貯蔵日数の経過とともに蒸しものの硬度は低下
- ◇ 糖度 (Brix) は貯蔵日数の概ね60日まで上昇

効果

- ニーズに合わせた貯蔵日数の設定が可能

本県で使える有機農業の栽培技術等

園芸作物部・生産環境部・茶業部

- 野菜・茶の有機農業についての栽培管理技術と県内の実践事例
- 技術指導書として利用できるよう農開センターHPに掲載

有機農業による栽培管理成果集

野菜・茶



野菜

- 各種肥料の特徴
- 有機質資材の施用時期別の窒素無機化の推定
- 作物別栽培管理技術 など

茶

- 病虫害抵抗性品種
- 有機栽培茶園の特徴・特性
- 年間施肥体系 など

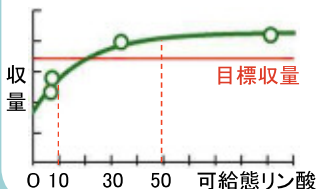
土壌診断でリン酸肥料の節約

生産環境部



技術ポイント

- ◇ 野菜畑では、土壌のリン酸が増加
- ◇ 目標収量確保のため、土壌のリン酸レベルに応じたリン酸施肥基準を作成 (下表)



可給態リン酸 (mg/100g) → リン酸施肥基準

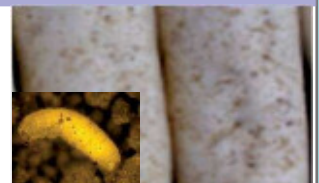
- ～10 → まず土づくりから
- 10～30 → 標準施肥
- 30～50 → 半量施肥
- 50～ → 無リン酸

ダイコン畦立・播種・施肥・施薬同時工程化技術

大隅支場



28年度中に販売開始見込み



キスジノミハムシ幼虫と被害

技術ポイント

- ◇ 畦立、播種、肥料・薬剤(深さ3～6cmにプリロツソ剤)施用を同時行程で実施
- ◇ シードテープの種子位置を検知し、マルチに播種穴を穿孔

効果

- 一連の作業は1時間/10a程度で可能
- キスジノミハムシ幼虫による生育初期被害軽減

果樹・茶

大将季の糖度・着色向上技術

果樹部



技術ポイント

- ◇市販の湿度設定機能のあるコンプレッサー型除湿器を利用し11日間予措

効果

- 果実の室温10℃、湿度50%で、果実重は6%減少、糖度は0.7上昇、果皮の赤みが向上するなど品質が向上



畜産

本県歴代最高の脂肪交雑成績「秀幸福」号

肉用牛改良研究所



ひでさちふく
「秀幸福」

【血統】
金幸福一百合茂一谷照
【年齢】
5歳(H21.10.19生)



産子の枝肉状況
(BMS No.11)

特徴

- 脂肪交雑の育種価が本県1位(H27.5)
- 枝肉のロース芯も大きく、歩留りも高い

交配対象(雌牛の父)

- 華春福, 勝忠平, 安福久, 安糸福, 隆之国など

新しい熱源を用いた『炒蒸機(いりむしき)』

茶業部



技術ポイント

- ◇高熱量の熱源として過熱水蒸気を付加
- ◇多様な茶種(深蒸し煎茶, 釜炒り茶, てん茶, 萎凋香緑茶などの製造)に対応可能

効果

- 釜炒り茶では処理能力が従来との3倍以上
- 煎茶とは異なる香味で新たな需要に対応



(農・食事業)

黒毛和種子牛の強化哺育技術

畜産試験場



技術ポイント

- ◇生時体重30kg以上と30kg未満の2つの体系
- ◇代用乳希釈倍率は5倍
- ◇生後7日齢から人工哺育
- ◇最大給与量は1,200g/日
- ◇基本哺育日数は生後49日

効果

高蛋白低脂肪代用乳(CP28%, FAT18%)の給与(強化哺育)で、哺育期の子牛の発育に影響を及ぼすインスリン様成長因子濃度が高まり、骨や筋肉の発達を促進

茶農薬散布量を大幅削減! かごしま式防除装置

茶業部



技術ポイント

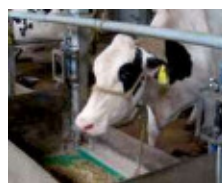
- ◇微粒化した農薬の噴霧と送風を組合せ、少量の農薬で茶新芽の病害虫を防除
- ◇農薬散布を茶樹表層に絞り天敵類を保護・活用

効果

- 茶の農薬散布量を従来比約1/2~1/3以下へ削減
- 農薬経費や散布労力等を大幅に削減
- 天敵と共存した茶の生産体系を構築

稲WCSの栄養特性と給与法

畜産試験場



栄養特性

- ◇粗蛋白質含量が低いほかは、その他の牧草と同程度

肉用牛繁殖

- 蛋白含量が少ないので高蛋白飼料の補給が必要

乳用牛

- 乾乳期に最適

効果

- 出穂期~乳熟期収穫: TDNとCPのバランスがとれたWCS
- 糊熟期~黄熟期収穫: 高収量で購入飼料費を軽減